



THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA-RYOHOKU

広島陵北ロータリークラブ

- The Weekly Report -

～ クラブのテーマ ～

こころゆたかなロータリアン

～ 本年度会長方針 ～

みんなで作ろう ロータリー

ロータリーを
実践し



みんなに
豊かな人生を

2013-2014 R.I.会長メッセージ

第1093回例会 2013年11月6日 No.1063号

■ 会長時間



会長 森川 和彦

失礼いたします。涼しいというよりは寒さを感じる季節となり、風邪もやはりはじめているようです。どうぞご自愛いただきますようお願いいたします。さて、11月17日は待ちに待った陸上教室の日です。次世代を担う子供達と1日一緒に過ごし、人生の縮図ともいべき陸上競技を通じて、あるべき生き方を共感できればと思っております。沢山のご参加をお願いいたします。今月は、ロータリー財団月間です。身近な組織ですが、よく分からないところも沢山ありますので、この機会に勉強してみたいかかでしょうか。ロータリー財団の根拠となる定款の抜粋と細則は、2010年の手続要覧では、2

68頁から載っています。組織を概観してみると、財団の全業務を処理する管理委員会というのがあり、その権限からみてこれが最高の決議機関になると思われまふ。ただ、若干の制限があつて法人会員である国際ロータリーの承認を得なければいけない事項があります。財産の支出、定款・細則の改正等、財団の資産の合併、解散、売却等及び財団のプログラム、プロジェクト等の活動です。ただし、財産の支出でも財団の管理運営に必要な経費や贈与または遺贈で指示されている財団寄付の収益または元金の支出には承認は不要とされています。これに対し、国際ロータリーがロータリー財団に対して負っている責任というものがありまして、これはすべてのロータリアンに対して、財団の活動への直接参加と財政的貢献を通じて、財団のプログラム、プロジェクト、活動を支援するよう奨励すること、クラブ、地区の会合や教育プログラム等を通じて財団のプログラムやプロジェクト、活動を推進すること及び財団の新プログラム、プロジェクト等を管理委員会に提案することです。国際ロータリーからは、各ロータリークラブに対して、常時、財団への活動支援や寄付が要請されますが、これは国際ロータリーがロータリー財団に対する責務を果たしているということなのだと思います。財団の最高の決議機関である管理委員会の役員は、最高の役員である管理委員会委員長、委員長エレクト、副委員長、事務総長です。15名の管理委員は、国際ロータリーの理事会の同意を得て国際ロータリー会長が任命します。事務総長は国際ロータリーの事務総長が兼任します。管理委員は無報酬ですが、事務総長には報酬が出ます。これらの規定ぶりを見ますと、当然自明のことですが、ロータリー財団が、国際ロータリーとも個々のロータリークラブとも独立した別の団体であることがよく分かります。もちろん両者は無関係ではなく、人事の交流や、プログラムやプロジェクトを通じて交流しています。しかし、国際ロータリーが出来るのは新しいプログラムやプロジェクトの提案までで、それを実際に行うか否かには干渉できません。一応、国際ロータリーの理事会の4分の3の同意により管理委員を罷免できるとはなっていますが、「然るべき十分な理由がある場合」であつて、通常の決議の当否には該当しないと解すべきでしょう。私は先輩諸兄から、なんども「ロータリー財団ができてロータリーは変わってしまった」と聞いたことがありますが、このあたりの事情を指して言っておられたのだと思います。

今回の例会(11月17日)	出席報告	来客者紹介
広島市小学生体育連盟陸上教室 支援活動 (※11/13の例会変更)	(串井例会運営副委員長) 11月6日(水)出席者 会員総数 49名 出席会員 40名 欠席会員 9名 ご来賓 0名 ご来客 3名 ゲスト 0名	(木村親睦家族副委員長) 11月6日(水)出席者 東城RC 1名 広島南RC 1名 広島東南RC 1名
次回の例会(11月20日)		
来賓卓話 松田 亜希子 様		

幹事報告(鈴木幹事)

■ 例会変更

※スケジュールページの11月をご覧下さい。

■ お知らせ

- ・ 年次総会のご案内を配布しております。12月4日(水)13時からですので、ご出席のほどよろしく願ひいたします。
- ・ 12月18日(水)クリスマス家族会のご案内をBOX配布しております。出欠のご回答は同封のハガキにて願ひいたします。

- ・ 12月25日(水)休会のご案内を配布しておりますので、ご確認下さい。
- ・ 次回11月13日(水)の例会は、11月17日(日)へ変更して広島市小学生体育連盟陸上教室の支援活動となりますので、お間違えのないようご注意下さい。

■ BOX配布物

- ・ ロータリーの友 11月号
- ・ ガバナー月信 11月号

【例会】 毎週水曜日(12:30～13:30) / リーガロイヤルホテル広島(広島市中区基町6-78) / 082-502-1121

【会長】森川 和彦 【事務所】広島市中区基町6-78 リーガロイヤルホテル広島13F 【TEL】082-221-4894

【幹事】鈴木 大次郎 【ホームページ】<http://www.ryohoku-rc.jp/> 【FAX】082-221-4870

会員卓話

今枝 仁 会員

広島県における飲酒運転根絶条例の早期制定を要望する 署名活動について

1 飲酒運転根絶への取組の必要性

危険で悪質な飲酒運転による死傷事故を発生させた場合の危険運転致死傷罪の創設、道路交通法改正による飲酒・酒気帯び運転の罰則・行政処分の強化、車両提供者・酒類提供者や同乗依頼者への罰則拡大等により、危険な飲酒運転による致死傷事故や、飲酒・酒気帯び事犯は減少したとされています。さらに、新たに準危険運転致死傷罪の創設等の法制度整備もなされつつあります。広島県警によれば、平成25年の7月末時点での飲酒運転検挙は63件で前年比28・4%減、飲酒運転による死亡事故死者は5名の方で前年比マイナス4名、44%減の実績が出ているとのこと。しかしながら、罰則を強化することにより運転者を威嚇し、飲酒運転を減少させる「撲滅」では防げない、アルコール依存症の運転者、飲酒運転常習者による飲酒運転は後を絶ちません。厳罰化により、かえって救護義務違反(轍さ逃げ)事案が増加しているという報告もあります。死亡事故も、数が減れば政策目的達成と慢心するのではなく、たとえ1名でも死亡されて悲しむ遺族を産んでいる以上は、死亡事故ゼロに向けての真剣な努力をしなければなりません。また、死亡に至らなくても、重度の傷害・後遺障害を負われ苦しんでおられる被害者やその家族が多数おられることも忘れてはなりません。危険で悪質な飲酒運転を実行することは、人の生命・身体・財産に危害を加えることにつき故意があり、もはや「地域社会におけるテロリズム」と言わなければなりません。県民の生命・身体や生活を守るべき責務を負う県警察を含む広島県は、あらゆる努力を尽くして、危険で悪質な飲酒運転を無くす努力をなすべきです。



2 広島県飲酒運転根絶条例制定の必要性

各都道府県の取り組みとしては、すでに大分県、山形県、宮城県、岡山県、福岡県、沖縄県、三重県において、県議会において飲酒運転の根絶に向けての活発な議論がなされ、飲酒運転根絶又は撲滅のための条例が制定されています。特に、福岡県と三重県の条例では、酒類提供者、駐車場所有者、タクシーや運転代行業の事業者らに対し、飲酒運転防止のための努力や通報を義務付けたり、飲酒運転で検挙された者についてアルコール依存症の受診義務を課し、さらに飲酒運転根絶に関する教育及び知識の普及を県や教育機関に求める等、具体的な施策が盛り込まれています。単に厳罰で威嚇して「撲滅」しようとするに留まらず、飲酒運転の原因を除去していくこととすることによって、飲酒運転を根源から絶つ、「根絶」が必要だと考えます。これら他県の飲酒運転根絶・撲滅条例について、その成果を見守っている時間的余裕はありません。広島県では今年になってからでも7月までにすでに5名の方が危険な飲酒運転による事故(事件)により命を奪われています。県の施策と県民の意識改革によって救えた命もあったかもしれません。今後も、何人もの方が、突如、危険な飲酒運転による事故により、命を奪われ、身体を傷つけられていくことが予想されます。県と県民の意識改革や努力により、これから救える命や身体があるかもしれません。そして、それは私たち自身や、私たちの大切な人かもしれません。そして私たちは、広島県条例においては、より一歩進んだ飲酒運転根絶の実効的施策を目指すべきと考えます。飲酒運転の根絶は、アルコール依存症への偏見と、飲酒習慣についての理解の欠如から、悩む人の相談や問題解決をする体制がなく、問題が潜在化していること、多くの人にアルコール問題と飲酒運転の危険性について当事者意識が欠如していることが、問題解決を困難にしています。私たちは、子ども達への教育や、大人への啓発により、アルコールとその依存性の問題についての理解を浸透させ、アルコール依存への偏見と誤解を無くし、問題に悩む人が気軽に相談できる体制を作り、内科医からアルコール問題専門の機関へのスムーズな連携を強化することにより、アルコールと依存症への認識と飲酒習慣とを根本から改善する実効的施策を盛り込んだ、広島県において最善の飲酒運転根絶条例の早期制定を求めます。

3 署名活動の開始

もはや、危険で悪質な飲酒運転を根絶するための具体的な行動が必要です。そこで私達は、広島県において、飲酒運転を根絶するための効果的な総合的施策を盛り込んだ飲酒運転根絶条例の早期制定を求めるため、9月21日アリスガーデンにおいて実施された「ひろしま飲酒運転根絶2013音楽祭」会場周辺において、署名運動を開始することに致しました。そして同日、同会場において約1000名の方の署名を頂き、マスコミ報道もして頂きました。そこで、引き続き飲酒運転根絶条例の必要性について県民の皆様へ周知し、条例制定への署名を集めるために、署名活動を継続することに致しました。当面は、1人でも多くの県民のみなさまのご理解を得て、その署名を県議会に提出することにより、県議会における飲酒運転根絶の議論を活発にして頂き、飲酒運転根絶条例制定への検討と準備が促進されることを期待したいと思います。しかしながら、もしも、県民の意識が高まって多数の署名が提出されたにもかかわらず、県議会において飲酒運転根絶のための議論が高まらず、県条例制定への動きが進まないようなときは、議員に代わり一定数の署名を基に議会に条例案を提出する、地方自治法に基づく直接請求の手続を執ることも視野に入れていきます。飲酒運転やその交通事故は、運転をする人、その周りの人が、自分自身とお互いの大切さと尊さを実感できるようになれば、必ず防げる犯罪です。私たちは、飲酒運転交通事故により亡くなられた方の尊い命を決して風化させず、飲酒運転交通事故による被害者・遺族、そしてその加害者も生まれない社会を実現するため、根気強く活動します。皆様の、飲酒運転根絶条例へのご理解と、署名へのご協力をお願い致します。

会員卓話

木村 茂 会員

ずっとむかしのはなしです。25年位前ですが広島大学へ来ていた留学生4人を車にのせて市内を移動している時、アフリカのS国からの男性が電話ボックスをみつけて「電話してくるから待っててください」と言うので車で待っておりました。電話を終えて車に乗り2・3分したらこんどは「電話ボックスに財布をわすれたよ！木村さん」と言うので引き返したのですが財布はもうありませんでした。警察に届ければ出てくるかもしれないからと言ったのですが、身の丈2メートルの彼はあわてることなく「インシャラですよ」と言います。拾った人はやはり「インシャラ」と言い神が恵んでくれた財布を喜ぶという発想です。全財産が入っていたという財布を無くしたのにもかかわらず、この執着のない・諦めの早い心はどこからくるのかいまだにわかりません。彼が風邪をひいて寝ていると言うので見舞いに行ったら、ふとんにくるまって寝ておりました。病院に行かない・薬も飲まないで「風邪をひいたら寝ていてじっとしていれば治ります。食事もとりません。胃に負担がかかり治りが遅くなる」と言いました。2・3日寝ていたら本当に元気になっておりました。子供が風邪をひいたら病院だ薬だと騒いでいた自分たちを見直すいい機会でした。



またアフリカの別のS国からの男性の話です。電話を貸してくれと言われてOKしたのですが、時間を指定されて夜の8時か9時頃に彼は来ました。「国の家には電話がなくて、母が一晩かけて歩いて電話の前に来て待っている。日本からその時間に合わせて電話をかける」と言いながら「サラーム・アレイコン」とうれしそうにはなしておりました。そういえば電話が普及していなかった頃の日本と同じ状況だと思いました。現在の日本だったら国際電話も携帯でつながりますが、彼は長電話を気にするでもなく長々とはなしていたのですが、こちらは国際電話では料金が高くなるのではと心配しておりました。電話を終えて彼は「インシャラ」と言い家をあとにしました。後日彼はお礼として靴を持って来てくれました。アナコンダクラス(見た事はありませんが)の大蛇の革張り・靴底は車の古タイヤでした。サイズはジャイアント馬場もびっくりのサイズでしたので「俺には大きすぎる」とつい言ってしまいました。「この靴がびっくりの人はいない。つま先に新聞紙を入れて履くんだ。だれでも履ける」と言われてあわてました。いまだに大切に持っております。オリンピックのマラソンを裸足で走って優勝したアベベ・ビキラを思い出しました。彼の国では高額だったんだろうに余計な事言ってしまったと後悔しました。彼が日本にいた時、母国政府が転覆したので「大丈夫か」と聞いてみたら「我々の国は何年か経つと政権がクーデターで交代している。」と平然としていました。彼は帰国するとき確かトヨタのランドクルーザーを買って帰るから手伝ってくれと言いました。トヨタのランドクルーザーでないといけなのかと聞いたら、国に帰ったら車の屋根に武器を据え付けて砂漠を走る。あの車は故障しないし、良く走ると平気で言いました。戦争に使うのかとびっくりしました。普通に輸入したら膨大な関税がかかり国に持ち込めないが日本で自分が使用していたものだと申請すれば税の免除があると言いました。よく調べているので、もしかするとこれも留学の目的の一つだったのでは？と思いました。「難しいからやめておけ」と言いましたが、その後どうしたかは聞きませんでした。

またインドの東側に位置するスリランカの女性(我々の時代はセイロンと習った)・マレーシアの女性・綺麗なキングス・イングリッシュを話すタイの女性の3人を車に載せて私は郷里東広島へ向かい、当時の広島大学予定地を案内し、近所の造り酒屋の仕事を案内しました。ついでに実家へ一緒に行きました。両親が掘りごたつに入り、雨戸を開けて田圃を見ながら話していた所に押しかけました。父も英語で話したり笑いが絶えませんでした。初冬だったのですが、ぼかぼかと暖かく「もや」がっかり静かな田舎がにぎやかになりました。帰りに彼女たちに「どこがおもしろかったかな」と聞いたらスリランカの留学生がすぐに「日本は良いですね。平和で。スリランカは戦争が絶えず身内や知人が死んでいます」と言いながら少し目には涙が浮かんでいたようでした。「日本も昔は戦争をしていて大変だった」と戦争を知らない自分が言っている言葉がむなしい気持ちがしました。日本が誇る田園風景をみて彼らが平和を感じてくれたのは良かったと思いました。

世界各国からの留学生が来ておりますが全員英語を自信持って話します。その国々独特のイントネーションですけど伝えようとする必死さが感じられます。英語は彼らの生活の向上に役立っているのだと感じました。こちらは向上心のない、いい加減な英語で話しますが彼らは理解しようとする優しさを持っておりましたから通じました。また彼ら留学生は母国に対する母国愛・忠誠心・家族愛をもっておりました。見習うべきものがあります。はっきりした自分達の主義主張を持って来日しているとおもいました。あれから30年経った今、彼らが母国で成長し、戦争のない平和な国で活躍している事を確信しております。今まで多くの留学生との交流を持たせていただいて、居ながらにして世界各国の話聞く事ができました。数々の思い出がいまだに心に残っております。紹介して下さった広島大学の先生に感謝しております。

福田会員へ記念品贈呈

森川会長より、15年連続出席の福田義彦会員へ記念品を贈呈しました。



米山功労者表彰

下田敬三会員が米山功労者 第3回マルチプルの表彰を受けられました。



SMILE BOX

.....: SMILE BOX

石川貴与和 会員

10月26日(土)厳島神社ハライ殿にて、古江子ども神楽の奉納を行いました。私も太鼓を打ってきました。いい記念になると思います。近々CCVにて放映の予定です。

小林康起 会員

11月1日～3日迄、名古屋でバスケットの全国大会に40歳以上、50歳以上、60歳以上と3チームの広島県のチーム36人を連れて、監督として出場してきました。選手で出るわけではなく、コーチばかり3チームの面倒を見たので大変疲れしました。優勝は出来ませんでした。

山田和弘 会員

11月16日土曜日、13時開場・13時半開演、東区民文化センター大ホールにて第6回広島バルカント男声合唱団ホームコンサートがございます。無料です。お時間の許す方どうぞお越し下さいませ。無料駐車場も広いです。女声合唱団の友情出演も会員による尺八の独奏もあります。

当日計	25,000円	累計	417,000円
-----	---------	----	----------